

【Ⅱコリント人への手紙 11章】

「**キリストに対する真実と貞潔**を失うことがあってはと、
私は心配しています。」
(Ⅱコリント11:3)

リビングバイブルにはこのように書いてあります。

「神様の深い思いやりをもって、あなたがたのことを心にかけています。ちょうど清純なおとめが、やがて夫となる人に愛をささげるように、あなたがたが、ただキリスト様だけをひたむきに愛するよう願っているのです。しかし、エバがエデンの園でサタンに惑わされたように、キリスト様に対する、きよい純真な献身の思いが消えてしまうのではないかと、心配でたまりません。」

パウロがどんなにコリントの教会の人々のことを心から愛しているかがわかります。にせ使徒であり、人を欺く働き人であって、キリストの使徒に変装しているサタン。光の御使いに変装するこの悪しきものに対して、子供を守る為に両手をかざしている親のようです。教会は主の花嫁としてふさわしく整えられるように聖霊様によって、パウロのような指導者によって祈られ、守られていかなければなりません。その為にみ言葉に更に正確に聞き従うことが求められます。

26聖人が大阪・京都で捕らえられ、1ヶ月以上かけて長崎に来る旅の中、最も苦しかったのは俵坂峠だと言われています。しかしその峠を越えた時、眼下に広がる美しい大村湾を見て、彼らは天国を思いながら、深い喜びに包まれたそうです。「地上でさえこのような苦しい上り道のあとに、こんな素晴らしい景色に出会えることができこうして慰めを受けられる。ましてこの殉教の旅を終えて天の家に帰るとき、どんなに素晴らしい風景が私たちを待っているだろう。」

彼らは、もしイエス・キリストへの純粋な愛を拒むなら、このような苦しみにあわなくてもよかったです。26聖人の主に対する**真実な愛と、死に至るまで貞潔を守った信仰**があったからこそ、日本にも福音が広がり、引いては私たちにも大きな影響力を与え、日本だけではなく、世界中に多大な影響を与え、これからもアニメ映画などでも与え続けてゆくでしょう！

パウロは主を証し、主に従う為に、多くの苦難を受けたことが描かれています。イエス様でさえ、従順を学ぶために受けられた多くの苦難がありました。へブル5:8「キリストは御子であられるのに、お受けになった多くの苦しみによって従順を学び」この従順を通して、多くの弟子たちが主に従っていきました。私たちがもし主に聞き従うために、受けている苦難があれば、十字架として受け取り、喜び感謝して賛美して前進して行きましょう！



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2012.6.24 No.689

今年のみ言葉 歴代誌Ⅱ 20:22

**我らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、
主は伏兵を設けて～彼らは打ち負かされた。**



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlcccfrh/>

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。

教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。